

H28当初：335,978千円（一）14,386千円
（H27当初：40,394千円（一）11,526千円）

事業概要

子ども・子育て支援事業支援計画に基づいて、必要な保育士が確保できるよう、人材育成、就業継続支援、再就職支援等の取組を実施する。

- ◆福祉・人材センターにコーディネーターを配置し、求職者と雇用者双方のマッチングや研修の実施
- ◆保育士修学資金等の貸付

期待される効果

求職者と雇用者双方のマッチングや研修を行い、潜在保育士の再就職等を支援するとともに、次世代の保育士を養成すること等への支援により、慢性的な保育士不足が解消され待機児童の解消が図られる。

現状・課題

- ◆求職者と雇用者のマッチングでは、途中入所に対する募集など非常勤やパートといった勤務形態での就労が想定されるため、再就職後も継続的な支援を行っていくことが必要である。
- ◆慢性的な保育士不足に加え、保育士等の就職希望者が、保育士養成施設等を卒業後、県外に就職したり、他の職種に就くなど、県内での次世代の保育士確保が困難になってきている。

事業目標

- ◆保育士として就労意欲のある潜在保育士等を、就業時間等のミスマッチや就業への不安などにより再び潜在保育士にしないよう支援を促進する。
- ◆保育士修学資金を貸し付け、保育士を養成することにより、県内の保育士を確保し若者の定住促進を図る。H28：1年生30人、2年生20人（H27：20人）
- ◆就職準備金等の貸付により、潜在保育士の再就職を支援する。

実施内容

保育士等人材確保事業

保育士人材確保事業委託料 H28当初：5,927千円

- ◆委託内容：
 - ①保育士再就職支援コーディネーターの配置
 - ②新規卒業者の確保、就業継続支援事業
 - ・高校生及び指定保育士養成施設の学生を対象とした人材確保の取組
 - ・就業継続支援研修
 - ・潜在保育士の再就職を支援する研修等
- ◆委託先：高知県社会福祉協議会
- ◆負担割合：国1/2、県1/2



高知県社会福祉協議会

- ・再就職支援コーディネーター配置
- ・求人情報の把握、整理
- ・求職者と雇用者のマッチング
- ・潜在保育士の再就職等を支援する研修実施
- ・指定保育士養成施設の学生等に対する就職説明会実施
- ・指定保育士養成施設在学する学生に修学資金を貸付
- ・潜在保育士に就職準備金・未就学児の保育料を貸付
- ・保育所等に保育補助者雇上に係る賃金を貸付

潜在保育士等

- ・求職登録
- ・就職前研修に参加
- ・就職準備金・未就学児の保育料の借入

指定保育士養成施設の学生等

- ・就職説明会に参加
- ・求職登録
- ・保育士修学資金の借入

保育士不足解消 求人・求職の円滑化

保育所・幼稚園等

- ・求人情報の提供
- ・潜在保育士の受入体制づくり
- ・保育士等の就業継続に対する取組
- ・保育補助者雇上に係る賃金の借入



保育士修学資金等 貸付事業費補助金 H28当初：330,051千円

- ◆補助先：高知県社会福祉協議会
- ◆補助率：国9/10、県1/10
- ◆補助対象経費及び補助基準額：

- (1)貸付金
 - ①保育士修学資金貸付事業
 - ・基本額：月額50千円/人
 - ・入学準備金：200千円/人
 - ・就職準備金200千円/人
 - ・生活費加算（生活保護世帯又は低所得者世帯）
 - ②保育補助者雇上費貸付
 - ・保育補助者に係る賃金：2,953千円/カ所・年
 - ③未就学児をもつ潜在保育士に対する保育料の一部貸付
 - ・保育料の半額（月額27千円/人）※1年間
 - ④潜在保育士に対する就職準備金貸付
 - ・就職準備金：200千円/人
- (2)貸付事務費：7,000千円/年

※国費は3年分

【返還免除】

- ①県内の保育所等において5年間（過疎地域は3年間）従事した場合
- ②保育補助者が3年以内に保育士資格を取得した場合
- ③④県内の保育所等で2年以上勤務した場合

【H28 子育て支援員研修等スケジュール（案）】

| 区分 | 項目 | H28. 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | H29.1月 | |
|-----------|-------------------|---------|----|--|----|--------------|---------------------------------------|----|-------------------------------------|---------------------------|-----|--------|--|
| 子育て支援員研修 | 基本研修 | | 募集 | 講義・演習 /8時間 (2日間) 〔100人×3回〕 | | | | | | | | | |
| | 専門研修 (地域保育コース) | 共通科目 | | 講義・演習 /15時間 (3~4日間) 〔80人×1回〕 | | | | | | | | | |
| | | 地域型保育 | | 講義・演習 /6.5時間 (1~2日間) 〔80人×1回〕 | | 見学実習 /2日間 | | | | | | | |
| | | 一時預かり | | 講義・演習 /6.5時間 (1~2日間) 〔80人×1回〕 | | 見学実習 /2日間 | | | | | | | |
| | フォローアップ研修 現任研修 | | | | | | | 募集 | | 講義・演習 /1日間 〔50人×2回〕 | | | |
| 家庭的保育者等研修 | 認定研修 | | | | 募集 | | 講義・演習 /40時間 (6~7日間) 〔20人×1回〕 | | 保育実習 /48時間+20日 (28日間) | | | | |
| | フォローアップ研修 | | | | | | | | 講義・演習 /2時間 (1日間) 〔10人×1回〕 | | | | |
| | 現任研修 | | | | | | 募集 | | 講義・演習 /18時間 (3日間) 〔10人×1回〕 | | | | |

【参考】子育て支援員研修事業 一覧表

H28.1.26

| 事業名等 | 養成者等 | 科目数・時間 | 担当課名 | H27日程 | H27 実績 | | H28 (予定) | |
|--|----------------------------|----------------------|------------------|---|--------|------|----------------|--------------------------|
| | | | | | 受講者数 | 修了者数 | 受講 予定者数 | 現任・フォロー アップ研修 |
| 基本研修 | 専門研修の 全コース共通研修 ※受講必須 | 8科目・8時間 | 幼保支援課 | 6月20・21日 高知市 6月27・28日 四万十市 | 201名 | 181名 | 290名 | |
| 専門研修 | | | | | | | | |
| ○ 地域保育コース | | | | | | | | |
| ・地域保育コースの共通研修 | 地域保育コースの 共通研修 ※受講必須 | 12科目 15時間 | 幼保支援課 | 7月11・12・26日 8月1日 高知市 《全4日》 | 154名 | — | | |
| ・地域型保育 小規模保育事業 家庭的保育事業 事業所内保育事業 | 保育従事者 | 6科目 6.5時間 2日以上の実習 | 幼保支援課 | 7月11・12・26日 8月3日以降の2日間 《全5日》 ※7月11・12・26日(共通研修の 時間とは重なっておりません。) | 149名 | 111名 | 80名 (80名) | フォローアップ 100名 現任50名 |
| ・一時預かり事業 | 保育従事者 | 6科目 6.5時間 2日以上の実習 | 幼保支援課 | 7月18日 8月3日以降の2日間 《全3日》 | 111名 | 84名 | | |
| ・ファミリー・サポート・センター事業 | 提供会員 | 4科目 6.5時間 | 県民生活・男 女共同参画課 | 未実施 | — | — | 80名 (80名) | |
| ○ 地域子育て支援コース | | | | | | | | |
| ・利用者支援事業(基本型) | 専任職員 | 9科目・24時間 | 少子対策課 | 7月7日、17日又は24日、 7月30日、8月～9月(現場 見学) 9月3日 | 7名 | 7名 | 7名 (0名) | 7名×1日 |
| ・利用者支援事業(特定型) | 専任職員 | 5科目・5.5時間 | 少子対策課 | | | | | |
| ・地域子育て支援拠点事業 | 専任職員 | 6科目・6時間 | 少子対策課 | 9月26日、9月27日 (2回実施) | 101名 | 101名 | 120名 (30名) | 60名程度 ×5日 |
| ○ 放課後児童コース | 補助員 | 6科目・9時間 | 生涯学習課 | 未実施 | — | — | 100名 (100名) | |
| ○ 社会的養護コース | 補助的職員 | 9科目・11時間 | 児童家庭課 | 未実施 | — | — | | |

※()は基本コース受講予定者